

令和6年度原子力・エネルギー教育支援事業交付金事業評価報告書

1. 交付金事業の名称 エネルギー教育研究事業
2. 交付金事業の事業主体 和歌山県
3. 交付金事業の実施場所 和歌山県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【和歌山県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

微量分光・蛍光光度計、卓上遠心機、スイングロータ、ロータ用チューブラック、パーソナルクレープを整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

京都大学複合原子力科学研究所、SPring-8、近畿大学原子力研究所を見学し、原子力・放射線・エネルギーについて理解を深めた。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 5, 227, 684円

交付金充当額 5, 227, 684円

6. 交付金事業の成果及び評価

当事業により原子力・エネルギーについて生徒等の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標85%に対して実績87%、施設見学事業が目標85%に対して実績85%だった。実験器具・実験材料の整備、施設見学事業を実施したことにより、放射線や原子力を含むエネルギーに関して、基本的な原理の理解はもとより、実験の解析手法や様々な科学研究への応用についても生徒等の理解が促進された。

原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標85%に対して実績85%、施設見学事業が目標85%に対して実績85%だった。本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として実験器具・実験材料の整備、施設見学事業が促進されたと評価できる。